

社員の皆さまへ

夏のボーナスは ゆうちょの定額・定期貯金、投資信託へ！

社員の皆さま、日々の業務運行確保と営業推進活動にご尽力いただき、ありがとうございます。

さて、来る6月29日(金)には、待望の夏ボーナスが支給されます。
皆さまにおかれましては、夏ボーナスの使い道を検討されていることと思います。

今年度の「信越ゆうちょ」の営業推進、特に、総貯金純増額(担当顧客)は、現在計画をわずかに上回って(計画の+2.51%(6/14 現在))いますが、7月期は大きなマイナス純増(約▲226億円)が予想されます。

また、投資信託販売額も計画をわずかに上回っていますが、全国平均を下回り(▲2.99%、約▲3.4億円(6/18 現在))全国11位の実績となり、厳しい状況となっております。

つきましては、社員の皆さまにおかれましても、「信越ゆうちょ」の厳しい現状をご理解いただき、まもなく支給される夏ボーナスについては、是非、郵便局の定額・定期貯金、投資信託及びiDeCoをご利用いただきますよう格別のご協力をお願いいたします。

暑さが日ごとに厳しさを増す季節となりますが、皆さまにおかれましては、特に健康管理や交通事故等に留意していただき、ご活躍されますことを祈念申し上げます。

2018年 6月 ○○日

○○○郵便局長 ○ ○ ○ ○

2018年6月20日

単独マネジメント局長 様

信越支社長

三田 彰子

日々の業務運行・営業推進について陣頭指揮をいただき誠にありがとうございます。

また、郵便物の配達等の正確な業務運行や、かもめ〜る・お中元等の販売にご尽力いただいております。重ねて御礼申し上げます。

現在、郵便関係事業においては、「ゆうパック」はもとより「物流系戦略商品の損益改善」、「集荷の見直し」及び「人件費管理」が喫緊の課題となっており、生産性向上の推進をお願いしているところです。

金融窓口事業においても、営業収益の約50%を占めるゆうちょ営業、とりわけ「総貯金純増額（担当顧客）」の推進は、計画をわずかにクリア(+2.51%、6/14 現在)しているものの、7月期は大幅なマイナス推進（約▲226億円）が想定され、また、「投資信託販売額」においても計画をわずかにクリアしているものの、全国平均を下回り(▲2.99%、約3.4億円(6/18 現在))全国11位と予断を許さない状況となっています。

については、6月25日（月）から実施のお客さま向け「ゆうちょ夏キャンペーン」を最大限活用した営業活動の徹底について、社員への指導とともに郵便局を挙げての取組をお願いしているところです。

来る6月29日（金）には、待望の夏ボーナスが支給されます。郵政グループに支給される夏ボーナスにつきましては、是非、郵便局の定額・定期貯金、投資信託及びiDeCoをご利用いただきますよう、金融窓口関係社員はもとより、貴職から郵便関係社員（旧集配センターを含む。）に対し協力要請及び声かけ等をよろしくお願い申し上げます。

暑さが日ごとに厳しさを増す季節となりますが、特に健康管理や交通事故等に留意していただき、ご活躍されますことを祈念申し上げます。

※ 社員向け協力要請(掲示版等への掲出)は、添付の「社員の皆さまへ」を参考にしてください。